

取組の概要

地域密着の地元放送局。地域コミュニティの橋渡し役として、地域住民の役に立つ企業を目指している。
この目的を達成するために、社員が心身共に健康であり、仕事に打ち込める体制を整えて社員一同が一丸となって活動している。

会社について

人数：26名
年齢層：20～50歳代
活動年数：6年11ヶ月(毎日)

取組の詳細

- 「わくわくランチ」：年4回開催。当日はノーコンビニデーとし、栄養バランスを配慮した弁当を地域飲食店に発注し、全社員で昼食をとっている。併せてサラダバーやフルーツバーを設置し、野菜摂取等も促している。
- 「ウォーキング大会」：会社主催の大会を休日に実施（年2回）。家族参加もあり。
- 「美姿勢体操」：資格を持つ元社員の指導の下、毎朝朝礼時に実施。以前は週に2～3回「うきうき体操」を実施していた。
- 「健康教室」：食生活改善推進員を招いて減塩教室、市役所や保健所による出前講座を実施。
- 「健診・検診」：健康診断の受診率は100%、要精検判定のべた社員に対する受診勧奨は必ず行っている。（受診率7割）対象年齢(40才以上5年毎)では人間ドック費用の全額負担も行っている。
- 「治療と仕事の両立」：受診や治療の必要な社員には必要な時間を確保できるよう勤務時間等の配慮が行われている。また、治療中の社員については、体調へ配慮し勤務シフトを組んでいる。（夜間、休日等の勤務から外すなど）治療や介護、育児にも使用可能な年5日のバックアップ休暇制度を設けている。
- 「メンタルヘルス」：年2回の個人面談を実施、定期的な相談体制が整備されている。メンタルヘルス研修会を実施。働きやすい職場づくりに取り組んでいる。
- その他：社内の協議スペースの間仕切りを健康掲示板とし、健康情報の発信（ポスター掲示など）をしている。協会けんぽより健康器具を借りて、健康測定を行っている。（血管年齢や肺年齢測定）インフルエンザの流行対策に予防接種への助成金制度有り。



↑ わくわくランチの様子

＜主体性＞

毎月各委員会（健康増進委員会含む）を開催し、職場環境づくりに自主的に取り組んでいる。

健康増進委員会で作成し、各種イベントを企画、実施している。

必要な予算も会社側との折衝で確保されており、計画から実施まで社員主体で進めている。

＜独自性＞

「わくわくランチ」では、地元の飲食店にリクエストしたバランスのとれた弁当で、職員全員で昼食会を行っている。

さらに、追加でサラダバーを設置し、野菜摂取も促している。

朝礼は全社員が集まって行い、社員による一言スピーチや、終了時にグータッチを行うなど、全員で一体感を醸成し働きやすい職場づくりを心がけている。

＜地域貢献度＞

地域に密着した情報発信を行っており、健康づくりに関する情報もタイムリーに発信している。

- ・健康体操の放送。
- ・テロップを工夫した食中毒警報や新型コロナウイルスの情報発信。
- ・地域の健康づくり活動の積極的な取材。地域のスポーツイベントには社員と家族一緒に参加している。

＜将来性＞

委員会のメンバーは定期的に入替をしており、全社員が健康づくりに関わられるようにしている。

H30年度受賞後は週2回の運動を毎日にするなど、既存の活動を拡大している。

PR
ポイント

地域の情報発信を担う会社として、健康づくりに役立つ情報もタイムリーに放送している。社内においては、健康づくり委員会を設置し社員主体で取り組んでいる。また、委員会だけでなく全社員で定期的に企画等を計画し、健康づくり活動に取り組んでいる。